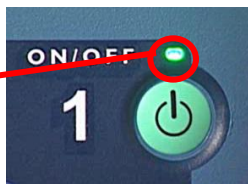


・「使用準備完了ランプ」の状態を毎日確認する

・緑色のランプが点滅していれば使用可能な状態です。ランプが消灯している場合は、注意が必要です。また、FRxからピープ音が聞こえiボタンが点滅している場合は、iボタンを押して音声メッセージの指示に従ってください。それでも問題が解決しない場合は、AEDコールセンターへご連絡下さい。

こちらが点滅することを毎日確認して下さい。(2~3秒間隔で点滅します)



「スタンバイモード(正常時)」

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。

* バッテリー装着セルフテスト

(何か問題が起こったら、まずはこちらを行ってください)

パッドコネクタが本体に装着されていることを確認の上、本体背部にバッテリーを装着して下さい。自動的にセルフテストが開始されます。音声メッセージに従って、セルフテストを完了して下さい。次にAEDがスタンバイ状態になることを確認して下さい。



①「セルフテストを開始します。緊急の場合は緑の電源ボタンを押して下さい。」



②「ショックボタンのテスト。オレンジのボタンが点滅したらボタンを押して下さい。テストは完了しました。」



③「電源ON/OFFボタンのテスト。緑の電源ON/OFFボタンを押して下さい。テストは完了しました。」



④「テスト中です...テスト中です...使用できます。」

キャリングケース

キャリングケースには予備のパッドやバッテリーを収納するスペースがあります。



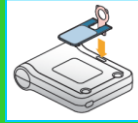
キャリングケースには予備のパッドやバッテリーを収納するスペースがあります。



1. 緑の電源ON/OFFボタンを押すと電源が入ります。

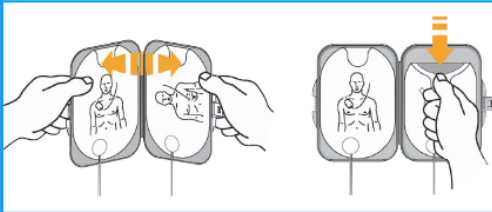


※ 8歳未満または体重25Kg以下の小児の場合は小児用キー（オプション）を挿入します。



「上半身の衣服を全て脱がせて下さい。」

2. 電極パッドを体に貼ります。



パッド・ケースを開け、図に描かれた位置にパッドを貼るとAEDが心電図解析を開始します。「身体から離れてください、心電図を解析中です。」

ショックが必要な場合

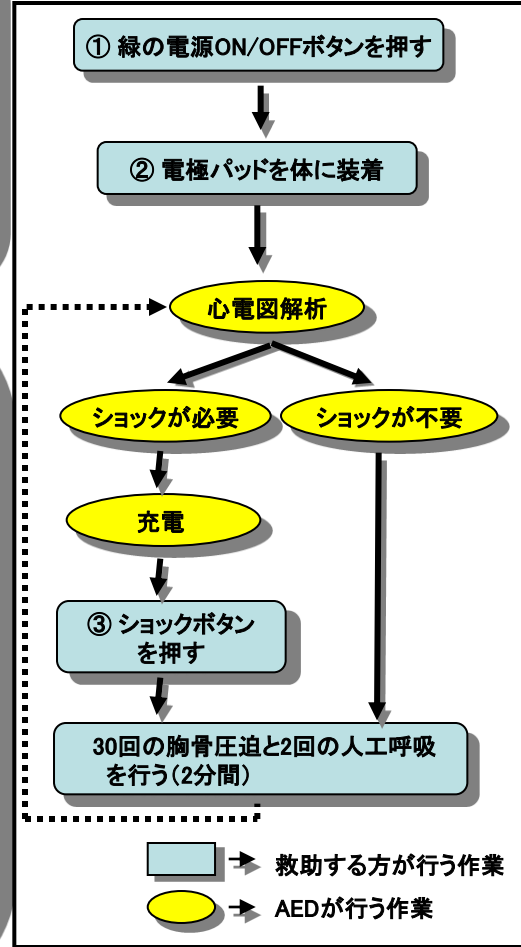
ショックが不要な場合

「ショックが必要です。身体から離れて下さい。」

「ショックは不要です。」
「119番に電話して、救急車を呼んだことを確認して下さい。」

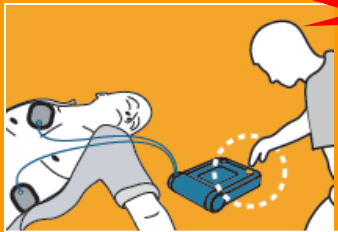
「身体に触れても大丈夫です。」
「胸骨圧迫と人工呼吸を開始して下さい。」

・全体の流れ

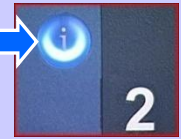


3 ショックボタンを押します。

電気ショック



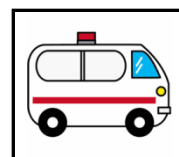
「点滅しているオレンジのボタンを押して下さい。」
 「ショックが完了しました。」
 「119番に電話して、救急車を呼んだことを確認して下さい。」
 「身体に触れても大丈夫です。」
 「直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を開始して下さい。」
 「心肺蘇生法の手順が知りたければ点滅する青いボタンを押します。」



胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を交互に2分間行います。



*** 救急車が到着するまでAEDの電源は入れたまま！
電極パッドは貼ったままにして下さい！！**



① CPRコーチング機能

⇒ 胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸方法を音声とテンポでガイドします。



② 優れた堅牢性

⇒ 約220Kgの荷重、高さ1mからのコンクリートへの落下にも耐えました。
防塵・防水はクラス最高のIP55

③ こども^{*}への除細動は小児用キー (小児用キーはオプションになります)

⇒ 本体に小児用キーを差し込むだけで小児モードに切り替わります。
成人・小児で同じ除細動パッドを使用できるため、経費も削減。

※1歳以上8歳未満、または体重25Kg未満。

④ ハートスタート独自の解析システム(SMARTアナリシス)

⇒ 心臓の状態を4つの指標で観察しています。

⑤ もしもの時のショックキャンセル機能

⇒ 充電後、ショックが必要のない状態に戻った際、ショックを取り消します。

⑥ 心臓マッサージ終了後直ちにショック実行(クイックショック)

⇒ 一時中断後、10秒以内にショックを行うことができます。
そのため、心臓マッサージの効果を無駄にしません！

⑦ 定時セルフテストで機器の状態をチェック

⇒ AED自身が毎日セルフテストを行っています。
結果は本体の使用準備完了ランプで確認できます。



**AEDは救命処置のための医療機器です。
AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや
消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。**